事業番号

0160

		平成 2	9年度行	政	事業レ	ビュ	ーシート		· 唐·与 厚生:	労働省)	
事業名	からだの痛み相談支				担当部		健康局			作月	戊責任者	
事業開始年度	平成24年度	事業終了 (予定)年度	終了予定な	なし	担当	課室	難病対策課	Ę		課長:川野	宇宏	
会計区分	一般会計											
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	_				関係する通知		-					
主要政策・施策	: -				主要	経費	社会保障					
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度以	疼痛患者・患者家族 る。	が症状や窮状を訴え	えても医療機関・	や行政	- 機関から的	的確な診	※断や助言が得ら	られず、複数	の機関にたらい	回しにされてい	いる現状を改善す	
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	患者の症状や境遇に ①痛みに関する電話 ②痛みに関する普及 ③医療従事者への研 (補助先:公募 補助	括相談 文啓発活動 开修事業	談や助言ができ	る信頼	質性の高い	相談窓口	口等患者の受け	十皿的機関を	設け、次の事業	を行う。		
実施方法	補助											
			26年度		27年度		28年度		29年度	30	0年度要求	
	当初予		10		10		10		9		14	
	補正予		_		_		_		-			
	予算 前年度から		_			+					-	
予算額 • 執行額	沈											
執行領 (単位:百万円)	予備費		-		-	+	-		9		11	
	計		10		10			10			14	
	執行額		10		10		10	10				
	執行率(%		100%			100%						
	当初予算+補正予算 る執行額の割合		100%	100%			100%					
	歳出予算目 難病等情報提供事		度当初予算	3	0年度要求		相談対応支援	ルマ 津 / ユロ ニハレ =	主な増減理		^台上ロー して 1 巻	
平成29·30年度 予算内訳 (単位:百万円)												
	計		9		14					T	I = · · ·	
成果目標及び	定量的な成果	目標	成果指標			単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 毎 年度	
成果実績					成果実績	件	62,932	70,268	117,391	-	-	
(アウトカム)	前年度実績以上	ホーム~	ホームページアクセス作		目標値	件	53,381	62,932	70,268	-	前年度以上	
49.4hn 1 177 - 1					達成度	%	118	112	167	_	-	
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	からだの痛み相談	支援事業実績報台	告書									
は田口悔ひだ	定量的な成果	目標	成果指標			単位	26年度	27年度	28年度	中間目標	目標最終年度 毎 年度	
成果目標及び成果実績		#n - t	ᆿᄼᅼᇉᇰᄼᄙ	# r !-	成果実績	人	307	530	310	_	-	
(アウトカム)	前年度実績以上	一般市場 の参加 <i> </i>	民向けの公開 人数	再坐	目標値	人	186	307	530	-	前年度以上	
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	からだの痛み相談	支援事業実績報台	告書		達成度	<u>%</u>	165	173	58	_	-	
(H <i>X</i> /	定量的な成果	目標	成果指標			単位	26年度	27年度	28年度	中間目標	目標最終年度 毎 年度	
成果目標及び 成果実績					成果実績	人	117	184	207	-	- 中区	
以来美領 (アウトカム)	前年度実績以上		事者向けの研	修会	目標値	一人	109	117	184	_	前年度以上	
		修了者数	汉		達成度	<u> </u>	107	157	113	_	- ni + /2 /2 -	
根拠として用いた					///		1	1			<u> </u>	

- 	亜 TL ッぐ		活動排	 		単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度活動見辺	
舌動指標及び 活動実績 (アウトプット)			-		活動実績	件	425	387	459	一 一 一	山地龙	
とリトン	ノツト)	電話 	相談実績数		当初見込み	件	745	425	387	459		
動指標	悪及び		活動排			単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度活動見足	
活動実アウトフ		一般向けの公開講座開催数				回	4	4	4	-		
		/32	一		当初見込み	回	3	4	4	4		
動指標			活動拍	信標		単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見過	
活動実 アウトフ		医療	従事者向けの研修会開f	崔数	活動実績	回	2	3	3	-		
		┡	₩ .11.4	3 +hn	当初見込み	回	2	3	3	3	* 注	
224 /LL \IA	± 11	Н	第出村		単位当たり	単位 円	26年度 22,130	24,208	27年度 28年度 29年度活動見込 24,208 20,464 18,708			
	位当たり コスト X:「執行額」 Y:「相談件数、公開講座及び研修会の開催回数」			計算式		· ·	-	9,536,000/466		3,000/466		
T	政策	I —		 かす疾病を予防・防止する	るとともに、!	l 惑染者等	<u> </u> に必要な医療	<u>└</u> 賽等を確保す	L ること			
	14-74	 		、								
	他录		5-2 難病等の予防・治 	: 撥寺を允美させること 						中間目標	目標年月	
			定量的	指標 ————————————————————————————————————		単位	26年度	27年度	28年度	- 年度	- 年	
					実績値	-	_	-	-	-	-	
					目標値	-	_	-	-	-	-	
政策評価	測 定指標		定性的指標	目標		目標年度		施	策の進捗状況	兄(目標)		
							-					
		╟		-		_		施	策の進捗状況	兄(実績)		
							-					
•	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係											
	患者の症状や境遇に合わせた適確な相談や助言ができる信頼性の高い相談窓口等患者の受け皿的機関を設け、次の事業を行う。 ①痛みに関する電話相談②痛みに関する普及啓発活動 ③医療従事者への研修事業 上記①、②及び③により慢性疼痛対策を推進し、目標達成に寄与する。											
	改革項目			」水で1世座し、口际注及1〜	可サック。							
			` KP (第一階			単位	計画開始時	28年度	29年度	中間目標	目標最終年	
	第 K		ابا دلا)	1/11/	成果実績	_	- 年度	-	_	年度	- 年	
アク	階I	-			目標値	_	_	_	-	_	_	
シ紹	₹				達成度	%	_	-	_	_	-	
ン・	<u>,</u>		KP (第二降			単位	計画開始時	28年度	29年度	中間目標	目標最終年	
ロボーグタ	(第二階層)				成果実績	-	_	_	_	_	_	
ラム	「層 I 層)	-			目標値	-	_	-	-	_	-	
	Ĺ				達成度	%	_	_	_	_	-	
				本事業	の成果と3	收革項目	・KPIとの関係					

-			争未	其所管部局による点検	∶•改善	
			項目		評価	評価に関する説明
投	事業の目的	は国民や社会のニー	ズを的確に反映しているか。		0	国民の多くが痛みを抱えているという報告もあり、広く国民のニーズがあり、慢性の痛みを抱える患者又はその家族からの相談及びその支援を行うために、国費を投入しなければ事業目的が達成できない。
-	地方自治体	、民間等に委ねること	ができない事業なのか。		0	痛みに関する医療は十分に整備されていないため、国が主体となって実施する必要がある。
	政策目的の 事業か。	達成手段として必要か	いつ適切な事業か。政策体系	その中で優先度の高い	0	電話相談件数は増加しており、患者の痛みを軽減し生活の質を向上させるという政策目的達成に向けて、優先度の高い事業である。
	競争性が確	保されているなど支出	出先の選定は妥当か。		ı	
		競争契約、指名競争契 芯札又は一者応募とな	2約又は随意契約(企画競争 こったものはないか。	·)による支出のうち、	無	_
	競争怕	生のない随意契約とな	ったものはないか。		無	
車車	受益者との	負担関係は妥当である	るか。		-	_
0	単位当たり	コスト等の水準は妥当	か。		0	効率的な運営になっている。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。					実施主体の事務経費等、必要なもののみに支出している。
Ė	費目・使途だ	が事業目的に即し真に	必要なものに限定されている	るか。	0	事業に必要な経費のみを補助の対象としており、真に必要なものに限定されている。
	不用率が大	きい場合、その理由は	は妥当か。(理由を右に記載))	-	-
	繰越額が大	きい場合、その理由は)	-	_
	その他コスト	 -削減や効率化に向け	 た工夫は行われているか。		_	_
	成果実績は	成果目標に見合ったも			0	成果目標に対して大きな乖離はなく、見合ったものとなって
耳(これ)	事業実施に		 法等が考えられる場合、それ	れと比較してより効果	-	いる。 -
す	活動実績は見込みに見合ったものであるか。				0	見込みに見合ったものとなっている。
Ė	整備された	施設や成果物は十分に	 こ活用されているか。		-	_
				 担を行っているか、(役		
月	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)					
車						1—
事	所管府省名	事業番号	Ē	事業名		
再美 「	所管府省名	ホームページアクセス本事業においては、道	ス件数や研修会参加者数は 適切に予算を執行し、相談事 を来す疾患には、国民の数百	増加傾向にあり、必要な	者向けの	慢性疼痛の研修会等を実施しており、事業の目標が達成で
再美 「	所管府省名 点検結果 改善の	ホームページアクセス 本事業においては、 きている。慢性疼痛を	ス件数や研修会参加者数は 適切に予算を執行し、相談事 を来す疾患には、国民の数百	増加傾向にあり、必要な	者向けの 多額の医	慢性疼痛の研修会等を実施しており、事業の目標が達成で
事業 「「「「「「「」」」 「「」」 「「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「	所管府省名 点検結果 改善の	ホームページアクセス 本事業においては、 きている。慢性疼痛を	ス件数や研修会参加者数は 適切に予算を執行し、相談事 を来す疾患には、国民の数百	増加傾向にあり、必要な 事業をはじめ、医療従事 万人が罹患しており、3	者向けの 多額の医	慢性疼痛の研修会等を実施しており、事業の目標が達成で
事業(一点食・牧善結果)	所管府省名 点検結果 改善の 方向性	ホームページアクセス 本事業においては、 きている。慢性疼痛を	ス件数や研修会参加者数は 適切に予算を執行し、相談事 来す疾患には、国民の数百 る。	増加傾向にあり、必要な 事業をはじめ、医療従事 万人が罹患しており、3	者向けの 多額の医	慢性疼痛の研修会等を実施しており、事業の目標が達成で療費を要し、社会的損失も大きいことから、引き続き本事業を
事業 点 魚・ 牧事 結果 検 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対	所管府省名 点検結果 改方向性 対象外 現場	ホームページアクセス 本事業においては、過きている。慢性疼痛を 推進することとしてい	ス件数や研修会参加者数は 適切に予算を執行し、相談事 を来す疾患には、国民の数百 る。 行政事	増加傾向にあり、必要な 業をはじめ、医療従事 万人が罹患しており、到 外部有識者の所見 業レビュー推進チー。	者向けの多額の医	慢性疼痛の研修会等を実施しており、事業の目標が達成で療費を要し、社会的損失も大きいことから、引き続き本事業を
事 集 一 点 负 - 收 唇 洁 果 一 一 (所 管府 ((((((((((((((((((ホームページアクセス本事業においては、過きている。慢性疼痛を推進することとしてい	ス件数や研修会参加者数は 適切に予算を執行し、相談事 を来す疾患には、国民の数百 る。 行政事 家族からの相談及びその支	増加傾向にあり、必要な 業をはじめ、医療従事 万人が罹患しており、到 外部有識者の所見 業レビュー推進チー。	者向けの 多額の医 ムの所見	慢性疼痛の研修会等を実施しており、事業の目標が達成で療費を要し、社会的損失も大きいことから、引き続き本事業を要し、社会的損失を表されている。引き続き本事業をであることから、引き続き、必要な予算額を確保し、適切な執行に
事 人, 放身, 收售店	所 信 検 者 の性 現状通 現状通 現状通 場 の性 慢努 一 一	ホームページアクセス本事業においては、過きている。慢性疼痛を推進することとしてい	ス件数や研修会参加者数は 適切に予算を執行し、相談事 を来す疾患には、国民の数百 る。 行政事 家族からの相談及びその支	増加傾向にあり、必要な 業をはじめ、医療従事 万人が罹患しており、多 外部有識者の所見 援を行うために必要な事	者向けの 多額の医 ムの所見	慢性疼痛の研修会等を実施しており、事業の目標が達成で療費を要し、社会的損失も大きいことから、引き続き本事業を要し、社会的損失を表されている。引き続き本事業をであることから、引き続き、必要な予算額を確保し、適切な執行に
事 人 「 	所 信 検 を う な 方 外 現状通 現状通 場 の性 慢 の 性	ホームページアクセス本事業においては、過きている。慢性疼痛を推進することとしてい	ス件数や研修会参加者数は 適切に予算を執行し、相談事 を来す疾患には、国民の数百 る。 行政事 家族からの相談及びその支	増加傾向にあり、必要な 業をはじめ、医療従事 万人が罹患しており、多 外部有識者の所見 援を行うために必要な事	者向けの 多額の医 ムの所見	慢性疼痛の研修会等を実施しており、事業の目標が達成で療費を要し、社会的損失も大きいことから、引き続き本事業を要し、社会的損失を表されている。引き続き本事業をであることから、引き続き、必要な予算額を確保し、適切な執行に
事 人, 放身, 收售店	所 信 検 者 の性 現状通 現状通 現状通 場 の性 慢努 一 一	ホームページアクセス本事業においては、過きている。慢性疼痛を推進することとしてい	ス件数や研修会参加者数は 適切に予算を執行し、相談事 を来す疾患には、国民の数百 る。 行政事 家族からの相談及びその支	増加傾向にあり、必要な 業をはじめ、医療従事 活万人が罹患しており、多 外部有識者の所見 援を行うために必要な事	者向けの 多額の医 ムの所見	慢性疼痛の研修会等を実施しており、事業の目標が達成で療費を要し、社会的損失も大きいことから、引き続き本事業を要し、社会的損失を表されている。引き続き本事業をであることから、引き続き、必要な予算額を確保し、適切な執行に
事業 一点 食・ 牧善 诘果 一	所 信 検 者 の性 現状通 現状通 現状通 場 の性 慢努 一 一	ホームページアクセス本事業においては、過きている。慢性疼痛を推進することとしてい	ス件数や研修会参加者数は 適切に予算を執行し、相談事 で来す疾患には、国民の数百 る。 行政事 家族からの相談及びその支 所見を踏まえた	増加傾向にあり、必要な 業をはじめ、医療従事 活万人が罹患しており、多 外部有識者の所見 援を行うために必要な事	者向けの 多額の の所 事業である おける	慢性疼痛の研修会等を実施しており、事業の目標が達成で療費を要し、社会的損失も大きいことから、引き続き本事業を要し、社会的損失を表してとから、引き続き本事業をであることから、引き続き、必要な予算額を確保し、適切な執行に
連事業 点検・改善結果 	所 信 検 者 の性 現状通 現状通 現状通 場 の性 慢努 一 一	ホームページアクセス本事業においては、過きている。慢性疼痛を推進することとしてい	ス件数や研修会参加者数は 適切に予算を執行し、相談事 で来す疾患には、国民の数百 る。 行政事 家族からの相談及びその支 所見を踏まえた	増加傾向にあり、必要な 業をはじめ、医療従事 活万人が罹患しており、多 外部有識者の所見 援を行うために必要な事 法改善点/概算要求に 備考	者向けの 多額の の所 事業である おける	慢性疼痛の研修会等を実施しており、事業の目標が達成で療費を要し、社会的損失も大きいことから、引き続き本事業を要し、社会的損失を表別であることから、引き続き、必要な予算額を確保し、適切な執行に

平成28年度

※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。 厚生労働省 10百万円 からだの痛み相談支援事業を実施する補助事業者に資金を補助 【補助金等交付】 A. 特定非営利活動法人 いたみ医学研究情報センター 10百万円 資金の流れ (資金の受け取 り先が何を行っ からだの痛み相談支援事業の実施 ているかについ •相談事業 て補足する) (単位:百万円) •普及啓発事業 ・医療従事者向け研修事業 ・ホームページ管理事業者の選定 ・実施結果の報告・管理業務 【随意契約(少額)】 B. (株) KCCA 0. 3百万円 ・からだの痛み相談・支援事業のホームページ管理 A.特定非営利活動法人いたみ医学研究情報セン B. 金 額 金 額 費目 使 途 費目 使 途 (百万円) (百万円) 諸謝金 相談員 謝金 3.3 旅費 講師派遣 旅費 2.2 費目•使途 (「資金の流れ」においてブロックご 賃金 事務職員、相談員 1.9 とに最大の金額 役務費 ホームページ管理等 1.3 が支出されている 者について記載 借料損料 0.8 市民公開講座等 会場費 する。費目と使途 の双方で実情が分かるように記 通信運搬費 0.1 |インターネット回線費等 消耗品費 事務用品等 0.1 載) 計 計

支出先上位10者リスト

A.

支 出 先	法人番号	業務概要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
特定非営利法人 いたみ医学研究情報センター	2490005005340	からだの痛み相談・支援事業	9.7	補助金等交付	1	-	-

В

	支 出 先	法人番号	業務概要	支 出 額(百万円)	契約方式等	入札者数(応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	(株)KCCA		からだの痛み相談・支援事 業のホームページ管理	0.3	随意契約 (少額)	ı	100%	-

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

	ブ ^{ロック} 名	契 約 先	法 人 番 号	業務概要	契約額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者 数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (契約額10億円以上)
1		_	-	_	-		_	_	_